







絵本を深く知るレクチャーシリーズ36

詩と絵の本『うたをうたうとき』

一 詩人まど・みちおざんと絵本のこと

渡邉良重さん(デザイナー)×松田素子さん(編集者)が語る





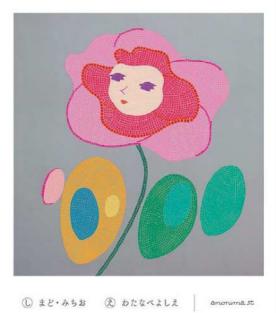
渡邉良重さん

松田素子さん

今回の講師は、デザイナーの渡邉良重さんと編集 者の松田素子さんです。

渡邉さんがまど・みちおさんの詩を選びコラボレ ーションした詩と絵の本『うたをうたうとき』。そ の制作の際にご一緒されたお二人に、『うたをうた うとき』の制作の背景はもちろん、『ブローチ』、 『ジャーニー』、『UN DEUX』、『しんじゅのこ』 などの絵本の著者でもある渡邉良重さんの絵本作り について伺います。ぜひ詩と絵の本『うたをうたう とき』をお手元に用意して、ご参加ください。

うたをうたうとき



2月19日(日)午後1時~3時

※1週間の見逃し配信あり

定員:90人(先着制) 受講料:500円

オンライン会議アプリのZoomを使用したオンラインの講座です。ご自宅などからご参加ください。

Peatix でのお申し込みです。

お申し込み URL https://otonaehon20230219.peatix.com

「お問い合わせ電話 0422-40-0313 三鷹ネットワーク大学推進機構 申込期間 ▶ 1月17日(火)9:30~2月18日(土)21:00

QRコードからも お申し込みいた だけます!



D225 3300

講座趣旨

おとなの知的好奇心を刺激する絵本講座 "おとな絵本ラウンジ"レクチャーシリーズ

多様な人々と様々な視点で絵本を楽しむ場"おとな絵本ラウンジ"のレクチャーシリーズは、今、絵本の世界で活躍する人々や活動を紹介する講座です。講師には、絵本作家、作家、美術家、デザイナー、編集者、キュレーターなど、様々な立場で絵本にかかわる方々をお招きします。

今回の講師は、デザイナーの渡邉良重さんと編 集者の松田素子さんです。

渡邉さんがまど・みちおさんの詩を選びコラボレーションした詩と絵の本『うたをうたうとき』。その制作の際にご一緒されたお二人に、『うたをうたうとき』の制作の背景はもちろん、『ブローチ』、『ジャーニー』、『UN DEUX』、『しんじゅのこ』などの絵本の著者でもある渡邉良重さんの絵本作りについて伺います。ぜひ詩と絵の本『うたをうたうとき』をお手元に用意して、ご参加ください。

梅澤尚子(コーディネーター)

講座開催概要	
日程	2023年2月19日 日曜日 ※1週間の見逃し配信あり
時間	午後1時~3時
定員	90人(先着制)
回 数	10
受講料	500円
持ち物	まど・みちお 詩、渡邉良重 絵『うたをうたうとき』(アノニマ・スタジオ、2022年)2,420円(税込) ◆教材は、アノニマ・スタジオのオンラインストア、全国書店、またはAmazon などのネット書店でご購入ください。 https://www.anonima-studio.com/books/picture_book/uta-wo-utau-toki/ ■ ※ なるべく書籍をお手元に用意して、講座にご参加ください。書籍は各自でご用意ください。
難易度	★☆☆
対 象	絵本に興味のある大人
会 場	オンライン(Zoom) ご自宅などからご参加ください。
申し込み	WEB https://otonaehon20230219 .peatix.com 申込期間:1月17日(火)午前9時30 分~2月18日(土)午後9時

詩と絵の本『うたをうたうとき』―詩人まど・みちおさんと絵本のこと 渡邉良重さん(デザイナー)×松田素子さん(編集者)が語る

2月19日

デザイナーの渡邉良重さんが国民的詩人であるまど・みちおさんの詩を選び、コラボレーションした詩と絵の本『うたをうたうとき』が 2022 年 3 月にアノニマ・スタジオより刊行されました。この本は、2019 年に山口大学医学部附属病院の小児病棟に設置された「ホスピタルアート」をもとに書籍化したもの。まど・みちおさんと渡邉良重さん、今回の書籍化への縁を繋いだ編集者の松田素子さんは、三人とも山口県ご出身という共通点もあります。

『うたをうたうとき』の本作りの背景、まど・みちおさんの詩に込められた想い、渡邉良重さんの絵本やデザインのお仕事について、編集者の松田素子さんとお話しいただきます。

講師紹介(敬称略)

渡邉 良重(わたなべ よしえ) アートディレクター、デザイナー

1961 年、山口県生まれ。山口大学教育学部卒業。グラフィックデザインを主とするデザイン制作会社・ドラフトを経て、アートディレクターの植原亮輔氏と共に 2012 年にキギ(KIGI)を設立。グラフィック、テキスタイル、「DーBROS」をはじめとするプロダクトのデザインを手がける。洋服やファッションのブランド「CACUMA」、琵琶湖の職人達と共に陶器を中心とした「KIKOF」などのブランドを立ち上げ、2015 年には東京・白金にギャラリー&ショップ「OUR FA-VOURITE SHOP」をオープンする。著書に『ブローチ』(文・内田也哉子)や『ジャーニー』(詩・長田弘、ジュエリー・薗部悦子)、『UN DEUX』(文・高山なおみ)、『しんじゅのこ』(文・福永信)、作品集『キギ/KIGI』、マガジン形式の作品集『KIGI_M』シリーズを刊行。2017 年、宇都宮美術館にて大規模個展「KIGI WORK & FREE」を開催。東京 ADC グランプリ、東京 ADC 会員賞、第 19 回亀倉雄策賞など受賞。

松田 素子(まつだ もとこ) 編集者

1955 年山口県生まれ。偕成社にて「月刊 MOE」の創刊・編集長を務め、退社後はフリーランスとして絵本を中心に 300 冊以上の本の誕生に関わってきた。長谷川義史、はたこうしろうなど、多くの作家のデビューに編集者として立ち会い、自身も翻訳者・著者として活動している。まど・みちおさんの晩年 10 年間を編集者として関わり、生み出したまどさんの書籍は『まど・みちお画集』とおいところ』、『絵をかいていちんち――まど・みちお 100 歳の画集』、『どんな小さなものでもみつめていると宇宙につながっている――詩人まど・みちお 100 歳の言葉』、『うちゅうの目』、『せんねん まんねん』、『くうき』、『まどさんからの手紙 こどもたちへ』などがある。

コーディネーター(敬称略)

梅澤 尚子(うめざわ なおこ) 絵本コーディネーター、絵本勉強家

地元、三鷹市に住む児童文学作家、神沢利子氏の展覧会を作るために発足された市民プロジェクト神沢利子展プロジェクト実行委員会にて、展覧会企画を担当。2013年より、絵本を学ぶ場、楽しむ場「おとな絵本ラウンジ」を企画コーディネート。2018年より、三鷹市星と森と絵本の家 回廊ギャラリー公募絵本原画展審査員。 おとな絵本ラウンジ: http://otonaehon.jimdo.com/

<見逃し配信のご案内>当講座終了後、期間限定で、講座の録画を限定配信します。対象者は、講座の申込期間中に受講料の支払いを行った方です。見逃し配信期間は2月22日(水)~3月1日(水)です(予定)。YouTube の限定公開 URL をメールでお知らせします。期間中は何度もご覧いただけます。オンライン講座の画面を録画して作成する動画となるため、通信状況により動画や音声が乱れる場合があります。ご了承ください。